

小学校3年 国語科（書写） 「筆を持とう」（教育出版「小学書写3」）

「正しい筆の持ち方を身につけよう」（書写）

北海道小樽市立緑小学校 三和史朗

■ 授業のねらい

3年生になって、初めて毛筆を学習します。導入段階でしっかりと基本を身につけさせる授業です。鉛筆の持ち方とは違う点をはっきりとさせ、つねに姿勢や持ち方に気をつけて書こうとする意識をもたせます。

■ デジタルコンテンツからの「子どもの学び」

指導書にはCD-ROMが付属しており、それも有効活用します。しかし、それだけではわかりにくい薬指の押さえ方を、動画のコンテンツを使って理解させます。持ち方に明らかに違いのある二種類の動画。それぞれを単独に再生し、違いを気づかせます。そうした活動を、授業の始めに行うことで、子どもは明確に目標をイメージして、書くことができるようになります。

■ 教材作成のポイント

静止画ではわかりにくいところを、カメラを回転させることで、空間的に自分の手と比較して持ち方の違いを認識させます。

■ 授業の流れ

まずは教科書や、付属CDの静止画を見せます。静止画を見て持ち方の違いを見つけさせます。出てきた点を整理し、さらに、持ち方の2つのビデオを見せます。まず、どちらが「一本がけ」かを考えさせます。次に、違いを見つけてさせるためにもう一度見せます。

「二本がけ」で、大切なのは薬指です。その場面動画を一時的に停止し、しっかりと認識させます。スクリーンを使うと効果的です。そこに気をつけて、半紙にいろいろな線を書かせます。机間巡視しながら、実際に確認し修正していく支援も必要です。

